

今日のトピック 米国の金融政策(2015年3月) 「忍耐強く」の文言を削除

ポイント1 フォワードガイダンスを変更

「忍耐強く」の文言を削除

- 米連邦準備制度理事会(FRB)は3月17日～18日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で、現行の低金利政策の維持を決定しました。今回、金融政策の先行きを示すフォワードガイダンスが変更され、利上げまで「忍耐強く」なれるという文言が声明から削除されました。
- ただ同時に、この変更は最初の利上げのタイミングを決定したことを意味しない旨の文言を加え、早期利上げ観測をけん制しました。

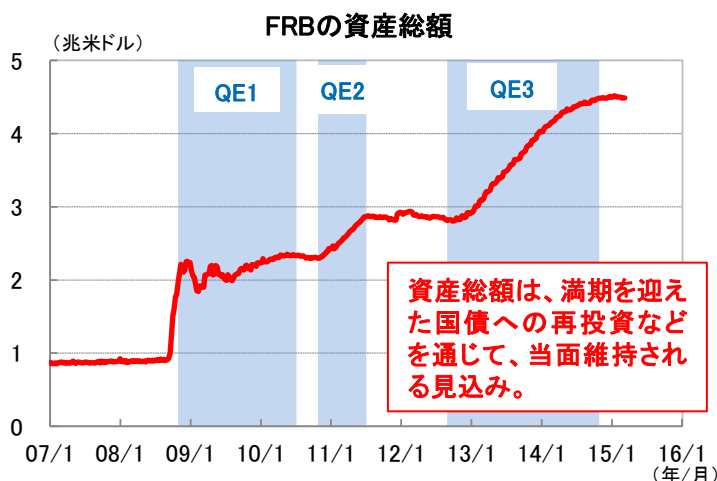
ポイント2 景気判断が下方修正

メンバーの金利見通しも下方修正

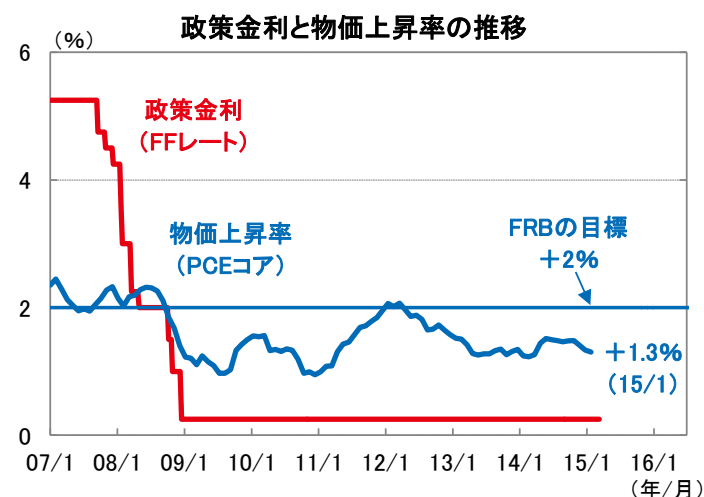
- 今回のFOMCはハト派的な内容となりました。声明では、経済成長はやや緩やかになったとの見方が示され、景気判断は下方修正されました。物価については、足元のインフレ指標は依然低水準である一方、中長期的なインフレ期待は引き続き安定していると判断されました。
- また今回はFOMCメンバーの新たな経済見通しが発表され、経済成長率と物価上昇率の予測値が総じて下方修正されました。一方、適切なフェデラルファンド(FF)金利誘導目標の水準についても、予想中央値が2015年末は1.125%から0.625%へ、2016年末は2.5%から1.875%へ、2017年末は3.625%から3.125%へ、それぞれ大幅に低下しました。

今後の展開 市場では2015年後半の利上げ開始の見方が優勢に

- 声明では、労働市場が一層改善され、インフレ率が中期的に2%の目標に戻っていくと合理的に確信した場合、引き締めが適切になるとの見解が示されました。



(注) データは2007年1月3日～2015年3月11日の週次。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) FFレートは2007年1月5日～2015年3月13日の週次。2008年12月以降のFFレートはターゲットレンジ0.00%～0.25%の上限を表示。物価上昇率は2007年1月～2015年1月の月次。PCEコア物価指数の前年同月比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2015年03月13日 米国の債券市場(2015年3月) 2015年03月12日 ドル高を懸念する米国株式市場

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。